

GPA とは？制度と算出方法を解説

GPA 制度とは

GPA 制度とは、授業科目ごとに 5 段階程度で評価された成績に対して段階ごとに「Grade Point(GP)」と呼ばれるポイントを付与し、単位当たりの平均「Grade Point Average(GPA)」を算出して、その一定水準を卒業などの要件とする制度です。主に欧米の大学で広く採用されている成績評価制度で、日本でも 2000 年代から導入する大学が増えていきました。

GPA の一般的な算出方法は、以下になります。

1. 授業科目ごとの成績を素点に応じて、5 段階程度 (AA/A/B/C/D) で評価
2. それぞれの段階に対して「4.0」「3.0」「2.0」「1.0」「0.0」のように GP を付与 (表 1)
3. 以下の「式 1」に当てはめて GPA を算出

(表 1)

| 素点 | 成績表示 | GP |
|------------|------|-----|
| 100 点～90 点 | AA | 4.0 |
| 89 点～80 点 | A | 3.0 |
| 79 点～70 点 | B | 2.0 |
| 69 点～60 点 | C | 1.0 |
| 60 点未満 | D | 0.0 |

GP の付与例の図

【式 1】GPA の算出方法

$$\frac{\text{(在学全期間において履修登録した科目の単位数} \times \text{その科目で獲得した GP) の総和}}{\text{在学全期間において履修登録した科目の総単位数}}$$

例えば・・・1 年次の成績が下記のようなであれば・・・37 単位 (29 科目)

AA 評価 15 単位 (11 科目) A 評価 15 単位 (12 科目) B 評価 4 単位 (4 科目)
C 評価 3 単位 (2 科目)

$$(4.0 \times 15) + (3.0 \times 15) + (2.0 \times 4) + (1.0 \times 3) / 37$$

$$116 / 37 = 3.13 \text{ が GPA}$$